05

日鋼ステンレス 株式会社

ステンレスパイプの流通商社
業界初のミルシートサービスを提供

「ラクミル」検索画面

本社写真

豊富な在庫

事業内容 幅広い在庫群でトップクラスのシェア

昭和47年大阪市南区（現中央区）で産声を上げたステンレスパイプに特化した流通商社。店売り（一般流通）分野でトップクラスの約20％のシェアを持つ。平成8年には現在の西淀川区中島2丁目に本社、倉庫を全面移転し、「第2の創業地」として事業を開始した。平成9年に東京支店を開設するなど業容を拡大し、平成27年にはベトナムに関連会社が本格始動した。ステンレスのシームレス管や溶接管など、回転率の良いSUS304などの汎用材から、販売機会の少ない特殊材質まで幅広く取りそろえ、ユーザーニーズに応えている。

平成25年にはステンレス流通業界では初めてのクラウドを利用したミルシート（鋼材検査証明書）のデリバリーサービス「ラクミル」を始めた。過去2年分の出荷データから検索項目や表示項目、印刷順などをユーザーごとに自由に設定し、ミルシートを取り出し、印刷できる機能を提供する。ミルシートをそろえる手作業がなくなり、郵送の手間もかからず、販売先に導入が広がっている。

補助事業 ミルシートサービス「ラクミル」に登録機能を追加

ミルシートデリバリーサービス「ラクミル」に登録機能を追加し平成28年に立ち上げた。処理スピードや安定性を向上させることで、ステンレス鋼材卸問屋を中心に利用ユーザー数を増加させ、業界のデファクトスタンダードを狙うとともに、ライセンス制を導入して事業としての確立を目指す。登録機能によって他社で購入した鋼材のミルシートも追加できるのが特徴。

さらに利用ユーザーの増加に対応するため仮想化サーバーを導入し、クラウドサービスを切り替えたことで、夜間のデータ作成処理スピードが旧サーバーに比べ1．7倍向上し、データ共有の安定性を向上させると同時にデータ容量を増強し、今後のサービス拡充に対応できるようになった。「ラクミル」にユーザー側がスキャナーで独自にミルシートを取り込むことができる機能や、出荷データや納品データを登録できる機能、ミルシートをメール送信で再配布できる機能を追加した。順次販売先にリリースしアピールしていく。

日鋼ステンレス 株式会社
代表取締役 河内山（こうちやま）信介
〒555-0041 大阪市西淀川区中島2−10−150
TEL. 06−6475−0141
FAX. 06−6474−2881
資本金／45，000千円
従業員／58名
短納期 企画力 小ロットOK 海外対応 連携力

時代の流れを敏感にキャッチし、一歩一歩進化する企業です

代表取締役 河内山（こうちやま） 信介

100年以上会社を存続させていくためには、社会に必要とされる存在でなければなりません。今の状況に満足せず、顧客情報を敏感にキャッチして、一歩一歩進化する企業を目指します。

http://www.nikko-sus.co.jp/

具体的成果 ユーザーとの関係性を高め高評価

他社との差別化が難しい流通問屋にとって、商品を買い続けてもらうためにどうすればいいかと考え、ミルシートのデリバリーサービスを思いついた。「ラクミル」は現在、約300社の販売先の内で120社が導入する。売り上げに占める割合は約45％。平成29年5月期には200社、売り上げの60％を占めるまで拡大する計画。テスト段階では汎用材のSUS304などが、在庫入荷から即出荷となり、回転が速すぎてメーカーのミルシートの更新が間に合わないといったケースもあった。メーカーとのきめ細かなすりあわせで、使い勝手を良くしてきた。

毎日注文のあるユーザーからは、「ミルシートをそろえる手間が省ける」と高評価を受ける。さらにミルシートを管理するサーバーなどが不要で、管理コストがかからない。クラウドサーバーを使用することで、データ流出の危険が避けられ、郵送などの手間も省ける。追加機能の利用料収入という直接的成果と一定量以上を購入してもらっているユーザーに対して追加機能を無料にすることで売上高アップにつなげる間接的成果を見込む。営業活動とともに利便性をアピールすることで、関係性を向上し売り上げ増に結びつける。

今後の戦略 100年以上存続する企業を目指す

「ラクミル」の新たな展開として、ステンレスパイプだけでなく、ステンレス鋼板や丸棒など多くの品種を幅広く登録できる業界のプラットフォームに育成する。そのため流通商社などとパートナーを組み、ユーザーニーズに応える考え。販売シェアも現在の20％から30％に高める。2年後には年間取扱量を1万2，000tに増やし、売上高も現在の90億円台から100億円超えを目指す。国内のステンレス需要は少子高齢化が進み、大きな伸びを期待できない。今後成長が期待できるアジア市場を狙って、平成26年に豫洲（よしゅう）短板産業（株）と合弁でベトナム拠点を設立した。日系企業が必要とする製品を提供する。

「謙虚にして驕らず」、「会社はそこで働く全社員のためにある」、「社会に必要とされて、100年以上存続する会社であること」、「活気にあふれ、人が育つ会社であること」―以上を経営理念として掲げる。ただ流通させるのではなく、必要なものを必要なときに必要なだけのジャストインタイムの精神と、きれいに、スピーディーに、確実に信頼を得られるような機能を日々努力して磨く。また100年以上の存続には、絶えず時代の流れに敏感になり、その流れに柔軟に対応する変化の力が大切と一歩一歩進化する努力を続ける。

取材を終えて

業界標準を進める一助に

ミルシートはメーカー名や製品の材質などを書いた用紙で、製品納入の際に添付されるもの。ただ縦書きや横書きなどメーカーによって書式に差があり、業界の標準化が進んでいない。流通業者にとっては、販売のためには不可欠で、個々の販売のたびに必要となり、ミルシートの添付は手間と労力がかかる作業となっている。流通団体などからも簡素化などの要望が出ている。今回の「ラクミル」が業界標準を進める一助になればと期待する。